

補正予算特別委員会総務文教分科会会議記録  
(補正予算審査)

1. 開催日	平成30年9月7日(金)
2. 場所	議員協議会室
3. 出席議員	隅田雅春座長、栗山泰三副座長、安井博幸委員、恒田正美委員、河南克典委員、奥土居帥心委員、森本富夫議長
4. 会議に付した事件	議案第63号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第4号)
5. 議事の経過	<p>9:27 開会</p> <p>隅田座長 開議宣告</p> <p><b>■政策部</b></p> <p><b>日程第1 議案第63号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第4号)</b></p> <p>行政経営課</p> <p><b>【主な説明】</b> 補正予算書に基づき説明</p> <p><b>【主な質疑】</b></p> <p>安井委員 空調の実施設計について、すべての学校に導入するのか。 政策部 国の補助金交付申請に先立って、実施設計を行う。今回の補正予算には小学校分の実施設計業務委託料を計上している。</p> <p>奥土居委員 地域振興基金費について、2億5千万円を積み立てるとのことであるが、臨時的な収入があった場合、財政調整基金に積み立てることができないルールがあるのか。 政策部 ルールは特にないが、今回の増加分については、篠山再生計画における収支見通しでは見込んでいないことから、財政調整基金ではなく、今後のまちづくりのために地域振興基金に積み立てようとするものである。</p> <p>奥土居委員 最近の災害対応にかかる費用として財政調整基金を充てている。そ</p>

	<p>のような状況の中、財政調整基金に積み立てることについて、検討等を行ったのか。</p>
政策部	<p>財政調整基金の確保については、これまでの篠山再生計画に基づいて行ってきた取り組みから確保していくという判断から、一時的に増収となった歳入については、財政調整基金とは区分して地域振興基金に積もうと判断した。</p>
奥土居委員	<p>財政調整基金の残高は、安全域にあるということか。</p>
政策部	<p>今回の補正予算により、財政調整基金は10億円を切っており、安全域とは言えない。財政調整基金がどの程度必要かなどの基準はないが、基準をもっている自治体では、標準財政規模の20%以下としている自治体が約7割ある。そうしたことから判断すると概ね標準財政規模の10～15%が財政調整基金の目安と考える。9月補正後の財政調整基金は少ないが、平成29年度の決算見込や収支見通しから見たとき、財政の安定までにはもう少し時間がかかるが、その方向性を考慮した中で、地域振興基金に積もうとするものである。</p>
奥土居委員	<p>篠山市の標準財政規模に対する財政調整基金はどのくらいの割合になるのか。</p>
政策部	<p>平成29年度決算時点で約13%である。</p>
奥土居委員	<p>篠山市の財政状況を考えたとき、財政調整基金に積むべきではないのか。今回、地域振興基金に積もうとする目的が別にあるのか。</p>
政策部	<p>具体的な目的は定めていない。</p>
奥土居委員	<p>地域振興基金に積み立てることについて、市長から指示があったのか。</p>
政策部	<p>指示はない。</p>
奥土居委員	<p>財政調整基金と地域振興基金に分けて積み立ててもよいのではないのか。昨今、災害も多く、そうしたことに対応するためにも財政調整基金に積むべきではないか。危機感が薄いと感じるがどうか。</p>
政策部	<p>財政調整基金の確保については、今後も努力していきたいと考える。</p>
政策部	<p>予算査定の段階において、内部でも議論を行い、最終的に今回の税収の増は一時的なものであり、収支見通しには含んでいないことから、今後のまちづくりに役立てるために地域振興基金に積み立てたいと考える。</p>
奥土居委員	<p>財政が安定するまでは、今回のような臨時的な収入については、その一部でも財政調整基金に積み立てるという方向性を常に考えるという考えはないのか。</p>

政策部	ご意見を踏まえ、部内で検討するとともに、市長、副市長にもご意見があったことを伝えたい。
隅田座長	奥土居委員からは、今後、一時的な収入があれば、その一部でも財政調整基金に積み立てるべきではないかとの意見があった。一方、当局からは、財政再建が計画通り進んでおり、一時的な収入は地域振興基金に積み立てるという答弁があったが、奥土居委員の意見を踏まえ、今後部内で検討するという事によいか。
政策部	これまで法人市民税の増収については、財政調整基金に積み立てており、通常は、財政調整基金に積み立てることになる。今回はあまりにも大きな収入であったことによる取り扱いとなった。
奥土居委員	地域振興基金は使途が限られるのではないか。
政策部	今回はまちづくりに活用できることから地域振興基金に積み立てようとするものである。
奥土居委員	明確な使用目的があるのか。
政策部	収支不足を単に補うものではなく、何かあるときのために地域振興基金に積み立てるものである。
奥土居委員	理事者とどのような協議を行ったのか。
政策部	一時的な収入であるため、収支不足を補うのではなく、地域振興基金に積み立てておくべきとのことであった。
奥土居委員	課長からは一時的、臨時的に関係なく、今回は地域振興基金に積み立てるという趣旨の答弁があったが、部長からは一時的な収入は地域振興基金に積み立てるという趣旨の答弁があったが、統一した見解を示してほしい。
政策部	この件の対応については、この後の議員協議で検討したい。
安井委員	8月発行の臨時広報には、駅名やインター名の変更にまで言及されていたことから、そういったことを想定して、地域振興基金に積もうとしているのではないのか。
政策部	そういったことは想定していない。
恒田委員	今回の税収の増加はいつ把握したのか。
政策部	9月補正予算編成時期である7月ごろであったと記憶している。
河南委員	公共施設整備基金について、補正後の残高はいくらになるのか。
政策部	9月補正後、約2億6,700万円余りとなる。

■総務部

日程第1 議案第63号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第4号)

総務課・管財契約課・税務課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

- 奥土居委員 職員人件費について、平成30年度の昇格者の男女別について説明願う。
- 総務部 後刻、資料を提出する。(資料:平成30年度 昇格者数 提出済み)
- 奥土居委員 係長昇任者の男女別人数はどうか。
- 総務部 係長級昇格者12名の内、女性は3名となっている。
- 奥土居委員 近年、女性職員の係長昇任試験受験率が低いと聞くが、今後、どのようにしていくのか。
- 総務部 平成16年度から係長昇任試験を実施しているが、近年、女性職員の受験率が低い状況であったことから、研修や受験を促すなどの取り組みを行ってきたが、成果が出ていない。平成30年度からは係長昇任試験を廃止し、人事評価を基礎資料として、能力のある女性職員を登用していきたいと考えている。
- 奥土居委員 今年度、急きょ保育士を5名追加採用したが、正規職員として募集を行えば、すぐに応募があった。来年度の保育士の採用に向けてはどのように考えているのか。
- 総務部 来年度にたきこども園が開園予定でもあり、7名を採用したいと考えている。
- 奥土居委員 応募できる年齢は何歳までか。
- 総務部 応募年齢は40歳までに引き上げており、民間経験者へも門戸を広げている。
- 奥土居委員 現在任期付職員である保育士が正規職員として採用してほしいなどの意向確認などは行っているのか。
- 総務部 更新時期や正規職員募集に際して、こども未来課や園長を通じて、声掛けなどを行っている。
- 奥土居委員 保育士が不足することのないよう対応願う。
- 再任用職員が当初の見込みより1名減った理由が、勤務成績によるとの説明があったが、再任用職員の採用にあたってどのような基準が

	あるのか。
総務部	要綱等で基準を定めており、人事評価や健康状態、勤務実績等により判断している。
奥土居委員	基準に基づく再任用の是非の判定は、総務課が行うのか。
総務部	再任用に関する条例及び規則、さらには再任用制度実施要綱を定めているとともに、地方公務員法に規定する欠格事由など、総合的に判断し、副市長、教育長、総務部長等で構成する再任用選考委員会において採用の是非を決定する。
奥土居委員	再任用とならなかった場合、それに対して不服申し立てはできるのか。
総務部	不服申し立てに関する規定はない。
奥土居委員	規定する必要があると考えるがどうか。
総務部	内容を確認の上、必要であれば検討したいと考える。
恒田委員	職員の振替休日の取得状況について説明願う。
総務部	月ごとの取得状況は、所属長が管理しており、総務課では把握していない。休日のイベント等への出役に対する振替休日は消化できていると認識している。
安井委員	2名の分限休職の理由は何か。
総務部	2名ともメンタル不調によるものである。
安井委員	分限休職はどのくらいの期間に及んでいるのか。
総務部	1名は長期に及んでおり、1年半が経過した。もう1名は、今年の6月から分限休職となっている。
安井委員	分限休職があった場合、その職場ではうまくバックアップ体制が取れているのか。
総務部	1名の欠員があった場合、課内で横断的に業務支援を行うとともに臨時職員を採用し対応している。
奥土居委員	分限休職となった原因は仕事なのか。
総務部	1名は仕事が原因で、もう1名は地域や家庭内のことが原因と聞いている。
奥土居委員	公務員であるがゆえに、地域内のことで病むのか。
総務部	ご家族にご不幸があり、自治会やまち協の役職が自分に回ってきたことが要因だと聞いている。
栗山副座長	今後の職員450人体制について、どのような方向性か。
総務部	幼稚園教諭や保育士の需要が高まっており、そうした職種は450名の定数外として補充を進めている。

総務部	現在、第4次定員適正化計画に基づいて職員の定数管理を行っているが、次期の第5次定員適正化計画策定に向け、行政運営上、支障とならないように職員配置していかねばならないと考えている。
栗山副座長	消防職も含め、必要な職員数について、第5次定員適正化計画で見込んでほしい。
奥土居委員	人口減少対策として、子育て施策を充実していく必要がある。例えば、保育園を公設公営で継続していこうとすると職員配置比準がますます大きくなり、全体的なバランスが崩れてくる。今後、公設民営について、真剣に考えていく時期に来ていると考えている。
総務部	公設民営については、高度な政治的判断となるため、意見があったことは市長等へも伝えたい。
恒田委員	財産管理費について、草山診療所医師住宅を解体してから3年を要したと記憶しているが、何か問題があったのか。
総務部	今年度から、当該案件については管財契約課が担当することになった。前担当課からは、地図と現況が合わなかったことから時間を要したと聞いている。
恒田委員	現地測量に時間がかかったということか。今後の見通しはどうか。
総務部	詳細は把握していないが、今後、地元とも協議を行いながら、年内に公売できればと考えている。
奥土居委員	(歳入)市税について、今回の個人市民税が増額になるとわかった日、及び納付書送付日、納付日、また庁内でその情報を共有した日付について説明願う。
総務部	確定申告が期限内に提出されれば、4月10日頃までに市へ確定申告のデータが送られてくる。そのデータを税務課で入力、チェックなどを行い、特別徴収対象者へは5月初旬、普通徴収対象者へは6月初旬に納税通知書等の送付を行った。対象者については納期ごとに納付いただいております。納期到来分については未納とはなっていない。また、9月補正予算での増額について、7月に行政経営課と協議を行った。
奥土居委員	市長が、市民税が増額になることを知ったのはいつ頃か。
総務部	市長には6月頃に課税状況を稟議した。直接の報告はしていない。
奥土居委員	政策会議等で報告や情報共有は行ったのか。
総務部	市民税が増額になることについては、税務課から5月31日付けで起案があり、6月以降に市長も把握したと考える。当該案件については、税情報であり、他課への情報ははばかられるため、政策会議等では報告等は行っていない。

奥土居委員	通常、決裁はどのくらいの日数で市長まで回るのか。
総務部	通常、1週間程度である。
奥土居委員	市長、副市長へは直接報告は行ったのか。
総務部	6月初めごろであったと記憶している。
奥土居委員	税務課から直接報告は受けたのか。
総務部	同時期に報告を受けたと記憶している。

## ■教育委員会

### 日程第1 議案第63号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第4号)

教育総務課・篠山東部学校給食センター

#### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

#### 【主な質疑】

河南委員	旧学校施設管理費に関し、後川複合教育施設の不要物品処分料について、ある程度処分できれば、処分料は少なくなるということか。
教育委員会	その通りである。使用可能な物品を地域で引き取っていただければ、処分料は減額できる。
河南委員	引き取りの周知はどうする予定か。
教育委員会	他の地域で実施した過去の状況を参考に、後川地域限定で周知することを考えている。
安井委員	残った物品を後川以外の方が引き取ることはできないのか。
教育委員会	現時点では考えていない。 これまでの状況から、使える物は、ほぼ地域の方に引き取りいただいている状況である。処分する物品には、使い物にならない物が沢山あり、そうした物を処分する予定である。
隅田座長	教育委員会費について、11月に秋田県大館市で開催される「学力向上フォーラム研修会」に教育委員1名が参加する費用弁償が計上されているとのことであるが、研修会の目的、内容等についてもう少し詳しく説明願う。
教育委員会	学校教育課の指導主事3名が大館市に行く予定である。あわせて教育委員も見識を高めるため参加いただく予定である。大館市では教育研修所の機能が学力向上に効果を上げており、そうした面を学ぶため

に参加いただくことを考えている。

学事課・学校教育課・文化財課

**【主な説明】**

補正予算書に基づき説明

**【主な質疑】**

安井委員 小学校・中学校教育振興費に関し、就学援助費にかかる新入学児童生徒学用品費について、入学前の1月に支給するとのことであるが、住民異動の多い年度末及び年度当初が控えている中、転出等に対応できるのか。

教育委員会 他自治体においては3月支給が多く、支給以降の異動はそれほど多くないと聞いている。本市においては、今年度より1月に支給する予定としており、支給以降に転校等の事例は出てくると思うが、市内の学校間の転校については、学校間で情報を共有することで対応できると考えている。また、他自治体への転出や他自治体から本市への転入についても、それぞれの教育委員会と連携し、二重支給のないように調整していきたい。

奥土居委員 学校施設維持管理費について、学校における空調設備整備に向けたタイムスケジュールはどのようになっているのか。また工事費はいつ予算計上されるのか。

教育委員会 今回の補正予算で計上している実施設計業務については、数ヶ月程度の期間を要すると考えている。補助金の原資となる国の補正予算の時期が未確定である中、まずは今回の9月補正で実施設計業務を計上し、工事発注ができる準備を整えていきたいと考えている。仮に12月に国の補正予算がついた場合、その段階で工事の実施設計が完了していれば、工事を前倒しし、12月補正予算で工事費を計上することになると考える。同じように国の補正予算が3月となった場合は、3月補正予算にて工事費を計上することになると考える。要望調査においては、前倒し分も含めて整備計画を挙げているが、採択されるかは未定であり、今年度内に採択されなかった場合については、平成31年度の当初予算で全ての小学校の工事費を計上することになると考える。

奥土居委員 学校の空調設備整備は、県下一斉の取り組みとなるのか。

教育委員会 空調設備整備については、京阪神地区はほぼ完了している。また、



但馬地域についても燃料費の安い暖房整備の視点から空調設備の整備はほぼ完了している。県下すべての自治体の取り組みとはならないことから集中はしないと考えている。なお、国はできるだけ早い時点ですべての小中学校で空調整備を進めていく方針を打ち出しており、それに呼応した措置として国の補助事業が採択された場合、速やかに工事にとりかかれるように今回の補正予算で実施設計業務を計上している。なお、工事の施工が遅れた場合についても、実施設計の数値をその時点の数値に補正すれば適正な設計となることから、無駄にはならないと考えている。

奥土居委員

学校施設においては、平日は授業で使用しており、工事は実質、夏休み期間となると思うが、夏休み期間だけで工事は完了するのか。

教育委員会

仮に国庫補助の採択が平成31年度となれば、小学校14校の工事を一斉に実施することとなることから、管財契約課とも協議し、小分けしての工事発注も考えていきたい。また、既に高圧受電設備、いわゆるキュービクルが設置してある学校については、キュービクルのない学校と比較し、工期が短くて済む可能性もあるので、そうした視点からのスケジュールも考えていきたい。また、基本的には夏休みに重点的に取り組むこととなるが、夏休みだけで工事を完了させることは難しい中、冬休みの工事や児童生徒の少ない学校であれば、工事を実施する一定期間は普通教室から特別教室等へ移動しての授業実施等の対応も考えながら、早期完了を目指していきたい。

安井委員

既にキュービクルのある学校はどの程度あるのか。

教育委員会

岡野、城東、城南、西紀南、大山、味間、今田の7小学校には既にキュービクルがある。なお、中学校においてはすべての学校にキュービクルがある。なお、空調設備を整備していく中で、既存のキュービクルについても、増設の必要性が生じる可能性もある。こうしたことも含め、実施設計で内容を固め、工事を発注していきたい。

栗山副座長

教室の少ない小規模校においては、キュービクルは必要ないかもしれない。各学校の状況を見極めながら取り組まれない。

奥土居委員

空調設備整備に伴う電気代はどの程度を見込んでいるのか。

教育委員会

現時点で正確な数値は持ち合わせていないが、既に空調整備済の他自治体の状況も確認していきたい。なお、学校施設においては、冬季はストーブを利用しているが、原油価格が高騰する中、空調設備を暖房で使用すれば燃料費は安く済む可能性もある。

奥土居委員

空調設備導入後は、ストーブを使用しないのか。併用は考えていな

	いのか。
教育委員会	暖房設備としての空調利用について、既に空調整備済の県内自治体の状況を確認したところ、空調設備のみを利用している自治体がある一方で、ストーブと併用している事例もある。こうした中、従来のストーブ等の使用を取りやめるならば、灯油代の削減が図れるが、部屋の温度を上げる際はストーブを利用し、その後の温度維持に空調設備を利用することで、消費電力を抑えることに繋がることもあり、費用対効果も踏まえながら、使用のルールも含め、今後検討していきたい。
栗山副座長	壁掛け型の空調設備の工事費は安いとも聞くので、検討されたい。
隅田座長	学校教育充実事業について、大館市で開催される学力向上フォーラム研修会へは誰を派遣する予定か。
教育委員会	指導主事3名と教育委員1名を派遣する予定である。
栗山副座長	オリンピック・パラリンピック・ムーブメント事業として、パラリンピック車いすテニス選手の上地結衣選手を招聘し、講話を聞くとのことであるが、上地選手からはよい話が聞けると思うので、ぜひ多くの方にも聞いてもらうことはできないか。
教育委員会	上地選手の招聘は決定ではないが、そうした事業は多くの方に周知したいと考える。
栗山副座長	町並整備事業に関し、住吉神社の「住之江の庭」を再生するためにワークショップを実施するとのことであるが、ワークショップではどのようなことを行うのか。
教育委員会	昨年度から住吉神社の「住之江の庭」を観光拠点とするための取り組みを進めており、庭の修復や活用について講演会とワークショップを開催した。今年度はそれらの成果をもとに、ワークショップ形式で庭の砂の洗浄や、竹垣の修復などを実施する。
栗山副座長	庭が傷んでおり、整備が必要であると考えているが、整備についてはどう考えているのか。
教育委員会	ワークショップ形式で地域住民の協力を得ながら庭の修復を行い、庭の再生を図りたいと考える。
奥土居委員	ワークショップできちんとした庭の再生ができるのか。
教育委員会	専門家の指導のもとに、地域の方には砂の洗浄など誰でもできる作業を行っていただく。左官作業など難しい部分については専門家に任せる。
隅田座長	当初予定していた古地図アプリは丹波篠山NAV Iを改良し、アプリケーション作成するとのことであったが、丹波篠山NAV Iはあま

り活用されていない印象がある。このアプリの活用に関する評価はどうか。

教育委員会 総務課情報政策係が管理しているが、あまりアプリの利用は多くないと聞いている。理由としてはアプリの容量が大きくダウンロードに時間がかかりすぎることと、市内にWi-Fi環境が整備されていないことが挙げられている。

#### こども未来課

##### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

##### 【主な質疑】

隅田座長 たきこども園整備事業に関し、駐車場整備について、通常であれば用地の寄附をいただいてから整備工事の補正予算を計上すべきと考えるがどうか。

教育委員会 当該地は、農地であり、市が農地を取得することはできない。取得するためには、当該地を農振地域から除外する必要があるため、農振除外の許可権限は県にあるため、現在、その手続きを進めている。寄附の申し出はあったが、寄附行為自体は待っていただいている状況であり、農振除外の手続きが済み次第、寄附行為をいただくことにしている。

隅田座長 9月下旬に農振除外になるとのことなので、その後、速やかに寄附行為をいただいてから工事を行うということか。

教育委員会 そのとおりである。したがって、寄附採納の報告は、12月議会になると考える。

奥土居委員 国道側の大きい方の駐車場は、来年度にアスファルト舗装することだが、どのぐらいの費用がかかるか。

教育委員会 たきこども園に近い小さい方の駐車場をアスファルト舗装することは政策決定しているが、大きい方の駐車場をアスファルト舗装するかどうかは、まだ政策決定していない。平常時の保護者送迎は小さい方の駐車場で足りること、また、旧畑小学校跡で篠山市こども発達支援センター用に整備した駐車場は舗装していないことなども勘案しながら、今後、検討していきたい。

奥土居委員 当初は、駐車場も含め、既存の敷地で足りるとのことのでこども園の整備に取り掛かってきた。それにも関わらず、約2,600万円の経費をかけて駐車場整備することの理由について説明願う。

教育委員会	<p>既存の敷地だけでは、駐車場の絶対数が足りない。そこで、JA集荷場や診療所の駐車場をこども園職員の駐車場にすることを考えていた。当時は、駐車場用地を新たに確保することはできないとの判断であった。</p> <p>そうした中、多紀小学校や多紀地区のイベント時に駐車場が不足していることもあり、土地を寄附するので活用してほしいとの地域の声があった。多紀地区では小学校の統合があったことも含め、駐車場整備を行うことになった。</p>
奥土居委員	<p>当初は、小学校や地域のイベント時には駐車場が厳しいものの、既存敷地で対応できると考えていたが、地域の意向で用地の寄附があるため、約2,600万円かけて駐車場を整備するということか。</p>
教育委員会	<p>そのとおりである。ただし、金額については、2筆の駐車場整備は概算で2,026万3千円、残りの約600万円は周辺整備工事費用である。</p>
奥土居委員 教育委員会	<p>周辺整備工事とは、どのあたりを整備するのか。</p> <p>グラウンドの東側で既存駐車場の南側にあたる箇所で、木々が繁茂したり、土の通路で凸凹していることから、通り抜けできるように整備してほしいとの声が地域からあったことから、アスファルト舗装し、いざというときには駐車場としても使えるようにするものである。</p> <p>また、小学校グラウンドにこども園の遊具を配置することから、小学校の遊具を移設することも含んでいる。</p>
奥土居委員	<p>教育委員会としては、用地があれば、駐車場を整備していくという方向性か。</p>
教育委員会	<p>多紀地区については、こども園ができるということが大きい。保護者の送迎が必要であり、こども園を併設する多紀小学校は、他の小学校よりも駐車場が必要になる。</p> <p>味間こども園の場合は、隣接して丹南健康福祉センター駐車場があり、また、ゲートボール場跡をこども園用の駐車場にしたこともあり、保護者送迎用の駐車場は足りている。しかしながら、職員については、少し離れた四季の森グラウンド駐車場にとめて歩いてきている。</p> <p>こども園の場合は、送迎があり、また、職員数も多くなることを勘案して、たきこども園に駐車場を確保すべきであると考えている。</p>
奥土居委員	<p>そうしたことは、当初から考えておかなければならなかったのではないか。</p>
教育委員会	<p>当初は、職員駐車場をJA集荷場や診療所で確保すれば、保護者駐</p>

車場を現敷地で確保できると考えていた。用地の寄附をいただいて駐  
車場を整備すれば、職員にも負担にならない。

奥土居委員

こども園としては、小さい方の駐車場だけを整備すれば足りるの  
ではないか。大きい方の駐車場も整備するのは、多紀小学校も含め、全  
体の利便性が向上するから整備するのではないか。

教育委員会

地域としては、2筆をセットで活用してほしいとの意向であった。

奥土居委員

大きい方の駐車場が必要ないと言っているのではない。こども園だ  
けではなく小学校も含めた全体の利便性が向上することが、整備する  
理由ではないのか。

教育委員会

両方の施設にとって利便性が高まることは、ご指摘のとおりである。

隅田座長

旧畑小学校跡での駐車場整備では、自然転圧に2～3年かかるとの  
ことであったが、今回、直ちに舗装しても大丈夫なのか。

教育委員会

国道側の土地は、道路からかなり下がっているが、今回舗装する土  
地については、道路と同じレベルの高さの箇所もあり、それほど盛土  
は生じない。管財契約課とも協議し、その検討結果に基づいている。

安井委員

軽自動車用のスペースを設ければ、駐車台数を増やすことができ  
るのではないか。

教育委員会

軽自動車がどのぐらいの台数になるかは読めない。バスのほか、普  
通車枠で考えている。

#### ■議員協議

隅田座長

議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば、発言  
願う。

奥土居委員

地域振興基金費について、部長と課長の答弁にずれがあると感じた。  
課長からは、多額の一時的な収入があった場合、本来は財政調整基金  
に積み立てるべきものを今回は例外的に地域振興基金に積み立てると  
いう答弁があった。しかしながら、部長からは多額の臨時的な収入は  
地域振興基金に積み立てるという答弁であった。どちらの見解が正し  
いのか、再度、部長等に確認を行ってはどうか。再度統一した見解を  
求めてはどうか。

隅田座長

再度、一時的な収入があった場合の基金への積み立てに関する考え  
方について、部長等に確認したい。

— 異議なし —

## ■部長等への確認質問

隅田座長 部長、課長に出席いただきましたので、再度、確認質問する。

奥土居委員 今回、市民税の増収があったことから、地域振興基金に2億5千万円積み立てるという予算が計上されている。課長からの本来であれば、財政調整基金に積み立てることが基本であるとの答弁を受け、なぜ今回は地域振興基金に積み立てを行うのか聞いたところ、部長から臨時的な収入は地域振興基金に積み立てることが妥当である旨の回答があった。それぞれの回答にずれがあると感じたので、再度、統一した見解を示してほしい。

政策部 市税の増収のような一時的な収入については、財政調整基金への積み立てが基本であるが、市長等との協議により、今回は地域振興基金に積み立てるということである。

奥土居委員 今回、地域振興基金に積み立てようとする理由は何か。

政策部 財政調整基金については基本的に収支見通しをベースに確保を図っている。過去には、収支見通しを上回る収入があった場合、公共施設整備基金や義務教育施設整備基金などにも積み立てを行ったこともある。今回は、例年になく10億円という市税の増収があった。財政調整基金の確保は収支見通しどおり努力して行っていくという判断のもと、今回の一時的な収入についてはまちづくりに資する財源としたいことから地域振興基金に積み立てようとするものである。

— 政策部退席 —

隅田座長 補正予算特別委員会全体会に持ち上がるべき市長等への質問等についてはどうか。

— 市長等への質問等なし —

## ■意向確認

議案第63号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第4号）

— 修正・反対等の意見なし —

隅田座長 この結果を含め、各委員との質疑、答弁の内容について、座長報告を行いたい。報告については、座長に一任いただきたい。

また、本日の会議の記録については、事務局に調製させ、正副座長において内容確認を行いたい。

— 異議なし —

隅田座長           私は補正予算特別委員長に就任しているため、座長報告は栗山副座長にお願いします。これに伴い、分科会選任委員1名を補足答弁者として選任する必要があるが、自薦もしくは他薦はないか。

— 自薦・他薦なし —

隅田座長           副座長から指名により、安井委員を分科会選任委員とし、副座長による報告の補助をお願いします。

— 異議なし —

栗山副座長 挨拶

15 : 15 閉会